

信用事業業務検定試験問題

第53回 農業融資財務分析基礎

2023年10月7日 実施

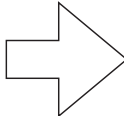
ご注意 (試験開始前によく読んでください)

1. 答案を作成する前に、この冊子の裏表紙に印刷してある「**答案作成上のご注意**」をよく読んでください。
2. 解答用紙に記載されている**受験番号・氏名**が正しいかどうかを確認してください。誤りがある場合は監督者に申し出てください。
3. 試験問題は、監督者の合図があってから開封してください。
4. 試験問題は、連動する通信教育講座の内容に沿って作成しています。
5. 試験問題に関しては、印刷不明瞭な点以外の質問は受け付けません。
6. 不正な行為があったときは、解答はすべて無効になります。
7. 退席の際には、解答用紙は必ず監督者に直接手渡してください。
8. そのほか、監督者の指示に従ってください。

※ 本検定試験の優秀成績者については県域あて通知文書等において所属団体・氏名等を公表することとしておりますが、**ご同意いただけない方は下欄に記入の上、試験終了後、本紙をミシン目に沿って切り取り監督者にご提出ください。**

私は、優秀賞（最優秀賞含む）を受賞しても所属団体・氏名等の公表に同意いたしません。

都道府県名		所属団体名												
受験番号										氏名				
			-											


 ここを切開く

農業融資財務分析基礎

連動する通信教育講座の内容や各種規定(統一版等)に基づき解答してください。

[問1] 経営体の種類に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 法人は定款で決めた事業年度を計算期間として、その期間における利益をもとに、法人税などを計算して、期末から3か月以内に、税務署に申告と納税をしなければならない。
 - b. JAは、法人の一種である。
 - c. さまざまな要件を満たし、農地を取得することができる農業法人は、農地保有適格法人と呼ばれる。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問2] 決算書の種類と青色申告に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 帳簿を作成すれば、事前申請することなく、自動的に青色申告の事業者となる。
 - b. 農業所得用の青色申告決算書の様式は、1ページ目の損益計算書に続いて、各種内訳等が並び、4ページ目の貸借対照表までで構成されている。
 - c. 実際には帳簿を作っていないか、帳簿の内容に虚偽があったりすると、青色申告が取り消される。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問3] 簿記のルール(仕訳)に関する次の記述において、正しい組合せを1つ選びなさい。

- ・資産が増えるときは、(A)に金額を記入する。
 - ・負債が増えるときは、(B)に金額を記入する。
 - ・収益が減るときは、(C)に金額を記入する。
 - ・費用が減るときは、(D)に金額を記入する。
- (1) A 借方 B 借方 C 貸方 D 貸方
(2) A 貸方 B 借方 C 貸方 D 借方
(3) A 借方 B 貸方 C 借方 D 貸方

[問4] 収入金額に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 販売基準によれば、収入金額を計上する時期は農産物の代金を受け取ったときである。
- (2) 現金主義は、青色申告の事業者すべてに認められた特例である。
- (3) 出荷奨励金とは、生鮮食料品等の安定した供給の確保を図るため、卸売業者から交付を受ける奨励金のことをいい、収入金額のうち雑収入に含める。

[問5] 棚卸しに関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 売上原価とは、その売上を得るために直接的に要したコストである。
- (2) 1つ7,000円の商品を100個仕入れて、そのうち70個が合計720,000円で売れた場合の利益は、20,000円である。
- (3) その年に実際にどのような農産物を棚卸ししているかは、農業所得用所得税青色申告決算書の「④収入金額の内訳」の農産物の期末棚卸高を見るとわかる。

[問6] 取得価額380,000円、取得時期・今年8月10日、耐用年数7年、償却方法・定額法で個人事業者が取得した耕うん機について、1年目の未償却残高と2年目の未償却残高の正しい組合せを1つ選びなさい(耐用年数7年の定額法償却率は0.143)。なお、減価償却費の計算で小数点以下の端数が生じた場合、切上げ処理を行うこと。

- (1) 1年目 361,886円 2年目 307,586円
- (2) 1年目 357,359円 2年目 303,019円
- (3) 1年目 357,358円 2年目 303,018円

[問7] 個人事業主が令和4年7月25日にトラクター(法定耐用年数7年)を1,900,000円で購入した場合の令和5年中の減価償却費として正しいものを1つ選びなさい。なお、年の途中での除却・売却・休止はないものとし、償却の方法は定率法、耐用年数7年の償却率は0.286とする。また、減価償却費の計算で小数点以下の端数が発生した場合、切上げ処理を行うこと。

- (1) 543,400円
- (2) 478,645円
- (3) 465,694円

[問 8] 減価償却に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。なお、(1)～(3)を購入した者は青色申告の事業者である。

- (1) 取得価額が10万円未満の農業用工具は、購入した年分の経費にすることができる。
- (2) 取得価額が20万円未満の一括償却資産は、4年間で1/4ずつ減価償却することができる。
- (3) 取得価額が30万円未満の少額減価償却資産は、年間の合計が500万円までであれば、購入した年分の経費にすることができる。

[問 9] 修繕費に関する次の記述について、明らかに修繕費と認められるものはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、それぞれの支払金額は固定資産の前期末取得価額の10%相当額を超えているものとする。

- (1) 1,000,000円を支払い、精米機を移設した。
- (2) 1,000,000円を支払い、3階建ての建物に避難階段を取り付けた。
- (3) 2,000,000円を支払い、倉庫を豚舎に改造した。

[問 10] 人件費に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 青色事業専従者の要件の1つに、「その年を通じて6月を超える期間、その事業に専ら従事していること」がある。
- (2) 白色申告の場合、専従者に対する給与は経費にできないが、給与があってもなくても、1人につき10万円(本人の配偶者である場合は50万円)を経費にすることができる。
- (3) 青色事業専従者の要件の1つである「生計が一緒である15歳以上の家族」の年齢は、その年の12月31日現在で判定する。

[問 11] 農産物以外の棚卸高に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 未収穫農産物は、栽培に要した種苗費、肥料費、農薬費の合計額を最終仕入原価法により評価する。
 - b. 販売用動物は、買入価格(又は種付費)と年末までの飼料費の合計額を最終仕入原価法により評価する。
 - c. 種苗、飼料、肥料、農薬、諸材料は、税務署に届出がなければ、先入先出法により評価する。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 12] 売掛金と貸倒引当金に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 貸倒引当金は、その年の12月31日時点における「売掛金、未収金、貸付金の残高の合計×5.5%」の金額を限度として設定できる。
- b. 貸倒引当金は、白色申告の事業者にも認められている。
- c. 計算した貸倒引当金は、負債・資本の部の貸倒引当金の欄に記載し、売掛金等の貸倒れリスクを表示する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 13] 次の固定資産のうち、減価償却が必要なものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. ソフトウェア
- b. 土地
- c. 借地権

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 14] 源泉徴収の納期の特例に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 常に従業員が20人未満である場合は、毎月ではなくまとめて年2回の納付で済ませることができる。
- b. 源泉徴収の納期の特例では、7月から12月までに源泉徴収した金額は、翌年1月31日までに納付する必要がある。
- c. 源泉徴収の納期の特例の利用にあたっては、事前に税務署に申請する必要がある。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 15] 事業を始めるにあたり 100 万円の資金を用意し、1 年間で 30 万円を稼いだが、そのうち 10 万円をプライベートで支払った場合の下記の貸借対照表の①～③に入る用語の組合せとして正しいものはどれか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

(単位：円)

科目	期首	期末	科目	期首	期末
現金	1,000,000	1,200,000	②		0
①		100,000	③	1,000,000	1,000,000
			所得金額		300,000
合計	1,000,000	1,300,000	合計	1,000,000	1,300,000

- (1) ①事業主借 ②事業主貸 ③元入金
 (2) ①事業主貸 ②事業主借 ③元入金
 (3) ①事業主貸 ②元入金 ③事業主借

[問 16] 次の a. ～ c. が原因で受け取った保険金のうち、非課税のものはいくつあるか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。

- a. 身体の障害に基因して受け取った生命保険の一時金
 b. 満期到来により受け取った生命保険の満期返戻金(掛金を上回る金額)
 c. 事故により、自身のケガや入院を補償するために受け取った保険金

- (1) 0
 (2) 1 つ
 (3) 2 つ

[問 17] 農業を営んでいる個人事業主 A の、令和元年から令和 4 年までの損益は次のとおりである。令和 4 年に課税される所得金額として正しいものはどれか、(1)～(3)の中から 1 つ選びなさい。なお、▲は赤字を表しており、A は青色申告の承認を受けており、農業所得以外の収入はないものとする。

令和元年 ▲2,000,000 円
 令和 2 年 ▲1,000,000 円
 令和 3 年 ▲ 500,000 円
 令和 4 年 3,000,000 円

- (1) 0 円
 (2) 1,500,000 円
 (3) 2,500,000 円

個人農家の下記資料を基に，[問 18] ～[問 22] に答えなさい。

収入金額	販売金額	8,300,000
	農産物の期首棚卸高	230,000
	農産物の期末棚卸高	250,000
	小 計	(①)
必要経費	租税公課	110,000
	種苗費	220,000
	肥料費	280,000
	農具費	95,000
	農薬・衛生費	260,000
	減価償却費	145,000
	利子割引料	17,000
	雑 費	213,000
	小 計	1,340,000
差引金額	(?)	
貸倒引当金 繰戻額	55,000	
専従者給与	2,813,000	
貸倒引当金 繰入額	(②)	
青色申告特別控除額	550,000	
所得金額	3,606,000	

資 産			負債・資本		
科 目	1月1日	12月31日	科 目	1月1日	12月31日
現 金	270,000	310,000	借入金	1,367,000	960,000
普通預金	1,350,000	1,150,000			
売掛金	1,000,000	1,200,000	貸倒引当金	55,000	66,000
農産物	(③)	(?)			
農機具等	770,000	850,000	事業主借		0
			元入金	2,198,000	2,198,000
事業主貸		3,620,000	(?)		(④)
合 計	3,620,000	7,380,000	合 計	3,620,000	(?)

[問 18] ①に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 7,820,000
- (2) 8,280,000
- (3) 8,320,000

[問 19] ②に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 26,000
- (2) 55,000
- (3) 66,000

[問 20] ③に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 20,000
- (2) 230,000
- (3) 250,000

[問 21] ④に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 3,606,000
- (2) 4,156,000
- (3) 4,222,000

[問 22] この個人農家の決算書の分析として、誤っているものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 専従者給与として2,813,000円が計上されているので、事業主本人と生計が一緒である配偶者その他の親族への給与は2,813,000円である。
 - b. 事業主貸として3,620,000円が計上されているので、この金額が家計から事業に移っているといえる。
 - c. 貸借対照表に建物の記載がないので、この事業主の自宅は借家だとわかる。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

農業法人の下記資料を基に，[問 23] ～[問 28] に答えなさい。

貸借対照表
(令和 5 年 3 月 31 日時点) (単位：円)

資産の部		負債の部	
【流動資産】	【 3,100,000 】	【流動負債】	【 1,450,000 】
現金預金	1,420,000	買掛金	670,000
売掛金	1,000,000	未払金	450,000
農産物等	370,000	預り金	160,000
仕掛品	365,000	(①) 法人税等	170,000
貸倒引当金	△ 55,000		
【固定資産】	【 11,710,000 】	【固定負債】	【 1,950,000 】
(有形固定資産)	(11,710,000)	長期借入金	1,950,000
建 物	2,100,000		
農機具	700,000	負債の部 合計	3,400,000
果樹・牛馬等	450,000		
育成仮勘定	760,000	純資産の部	
土 地	7,700,000	【資本金】	【 3,000,000 】
		【利益剰余金】	【 8,410,000 】
		繰越利益	8,410,000
		純資産の部 合計	11,410,000
資産の部 合計	14,810,000	負債・純資産 合計	14,810,000

損益計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)

【売上高】		11,500,000
【売上原価】		
期首農産物棚卸高	290,000	
当期農業原価	<u>6,150,000</u>	
合計	(?)	
期末農産物棚卸高	<u>330,000</u>	(?)
売上総利益		(②)
【(③)及び一般管理費】		<u>4,500,000</u>
営業利益		890,000
【営業外収益】		
貸倒引当金戻入	55,000	
雑収入	<u>75,000</u>	130,000
【営業外費用】		
支払利息	<u>65,000</u>	<u>65,000</u>
経常利益		955,000
税引前当期純利益		955,000
法人税, (④)		<u>388,000</u>
当期純利益		<u><u>567,000</u></u>

株主資本等変動計算書

(自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日)

(単位：円)

	資本金	資本準備金	利益剰余金		純資産合計
			利益準備金	繰越利益	
当期首残高	3,000,000	0	0	(⑤)	(?)
当期変動額					
剰余金の配当					
当期純利益				567,000	567,000
当期変動額合計	0	0	0	567,000	567,000
当期末残高	3,000,000	0	0	(?)	11,410,000

[問 23] ①に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 未払
- (2) 前払
- (3) 仮払

[問 24] ②に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 4,750,000
- (2) 5,310,000
- (3) 5,390,000

[問 25] ③に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 福利厚生費
- (2) 広告宣伝費
- (3) 販売費

[問 26] ④に当てはまる語句として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 住民税及び事業税
- (2) 消費税
- (3) 地方税

[問 27] ⑤に当てはまる金額として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 7,843,000
- (2) 8,410,000
- (3) 11,410,000

[問 28] 固定長期適合率として、正しいものを1つ選びなさい(小数第2位を四捨五入)。

- (1) 344.4%
- (2) 102.6%
- (3) 87.6%

[問 29] 各種財務指標による分析に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 当座比率、自己資本比率は収益性分析で使われる比率である。
 - b. 総資本経常利益率は、「経常利益率×総資本回転率」で表される。
 - c. 流動比率は、現預金と1年以内に現金化できる資産で、1年以内に返済が必要な負債を支払う能力を確認する指標であり、150%以上が理想といわれている。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 30] 労働生産性の計算式として、正しい組合せを1つ選びなさい。

労働生産性 = (A) ÷ (B)

- (1) A 人件費 B 従業員数
(2) A 付加価値額 B 従業員数
(3) A 人件費 B 付加価値額

[問 31] 資金繰りでよく出てくる言葉である「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 「勘定合って銭足らず」における「勘定」とは利益(所得)を指し、「銭」とはお金のことを指す。
 - b. 農業における収入金額の計算は販売基準でカウントするため、現金の裏付けがある。
 - c. 商品を販売すれば、その回収が現金であろうが掛けであろうが、「売上」の事実をもって収入金額(収益)と認識する考え方を売上主義という。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 32] 「勘定合って銭足らず」に関する次の記述について、営業の過程で資金が不足しないものを、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、各記述はそれぞれ独立したものであり、この記述のほかには取引はないものとする。また、令和5年3月10日取引開始前の現預金残高は0円である。

- (1) 令和5年3月10日に商品16,000円を掛けて仕入れ(決済日同年5月31日)、この商品を同年5月10日に23,000円で掛け売りした(決済日同年6月30日)。
- (2) 令和5年3月10日に商品21,000円を掛けて仕入れ(決済日同年4月28日)、この商品を同年4月20日に29,000円で現金販売した。
- (3) 令和5年3月10日に商品17,000円を掛けて仕入れ(決済日同年4月28日)、この商品を同年4月20日に24,000円で掛け売りした(決済日同年5月31日)。

[問 33] 損益計算と収支計算に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 商品を掛けて仕入れ、この商品を現金で販売した場合、「収支計算上の収支<損益計算上の利益」となる。
 - b. 期末に未販売農産物が80,000円(販売価格)発生していた場合、収支計算上80,000円のマイナスとなる。
 - c. 前期から繰り越された未販売農産物が15,000円(販売価格)、当期末に18,000円(販売価格)の未販売農産物が発生している。このとき前期の未販売農産物を含めた当期の実際の売上が220,000円だった場合の当期利益は、217,000円となる。なお、売上原価については考慮しなくてよい。
- (1) 1つ
 - (2) 2つ
 - (3) 3つ

[問 34] 次の①～⑤の取引を行った結果、現預金の月末残高として正しいものはどれか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい(現預金の月初残高600,000円とする)。

- ① 商品を125,000円で仕入れ、代金は掛けとした。
 - ② 商品を160,000円で売り上げ、代金は現金で受け取った。
 - ③ 以前受け取っていた受取手形90,000円が決済され、普通預金に入金された。
 - ④ 以前振り出していた支払手形125,000円が決済され、当座預金から引き落とされた。
 - ⑤ 月次決算において、減価償却費50,000円を計上した。
- (1) 635,000円
 - (2) 725,000円
 - (3) 775,000円

[問 35] 仕入と売上原価に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、本問に記載のない事項は一切考慮しなくてよい。

- a. 前年から繰り越された商品が売れた場合、その分、利益率は増加する(仕入単価は同じ)。
- b. 期首の在庫(すべて当期に販売)の金額よりも、期末の在庫の金額が小さい場合は資金が増加する。
- c. 期首棚卸高 15,000 円、当期仕入高 20,000 円、期末棚卸高 11,000 円、原価値入率(※)は期を通して 25% で一定であった場合、資金は 4,000 円増加する。なお、本問は農産物以外の取引であり、売上および仕入はすべて現金で決済されるものとする。

(※)原価値入率 = (売上高 - 売上原価) ÷ 売上原価 とする。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 36] 在庫に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 仕入、売上ともすべて現金取引とした場合、在庫が発生しなければ、損益計算の利益と収支計算の収支が一致する。
- b. 仕入れた商品が売れ残った場合、(仕入 - 売上原価)に相当する在庫が増えることになる。
- c. 収穫基準が適用される米・麦・いも類の未販売農作物については、会計上、在庫として認識するのではなく、実質的な売掛金として認識する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 37] 経費に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 貸倒引当金は経費の計上が先で実際の支出が後となり、貸倒引当金の繰入れは減価償却費とは異なり、お金の支出を伴う。
- b. 個人事業主が当年11月に機械の修繕を行ったが修繕費30万円の支払は翌年1月の場合、経費として計上できるのは翌年である。
- c. 種苗費、種付料、素畜費、肥料、農薬などのうち育成中の果樹や牛馬に関するものがある場合は、それらは経費ではなく資産計上する。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 38] 次の①～④の取引で利益と収支が一致するのは、①の取引から何か月後か、正しいものを1つ選びなさい。

- ① 商品30,000円を掛けて仕入れた。
- ② ①の商品を2か月後に37,000円で掛け売りした。
- ③ ①の買掛金は、仕入れてから1.5か月後に2か月サイトの手形で支払った。
- ④ ②の売掛金は、売り上げてから1.5か月後に2か月サイトの手形で回収した。

- (1) 3.5か月後
- (2) 4.5か月後
- (3) 5.5か月後

[問 39] 仕入支出と売上収入に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 買掛金のサイト、支払手形のサイトが長ければ長いほど、お金が不足する期間は短くてすむが、在庫期間の長さは、お金が不足する期間に影響しない。
- b. 次の取引で、買掛金を仕入時より1.5か月後に2か月のサイトの支払手形で支払ったら、お金は不足する。
 - ①商品を掛けて仕入れた。
 - ②仕入から1か月後、その商品を掛け売りした。
 - ③掛け売りから2か月後、売掛金を現金回収した。
- c. 商品を仕入れてから売り上げて、お金を回収するまでのプロセス(手形を使う場合)は、次のとおりである。

仕入→在庫→売上→売掛金→受取手形→現金収入

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 40] 資金繰りに関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 資金繰りとは、その内容により「目先のお金の確実なやりくり」と「将来を見通した、計画的な、資金の運用と調達」に分けることができる。
- b. 資金繰りに失敗し経営破綻する会社であっても、業績が悪いとは限らない。
- c. ある時点でお金の「出」が「入り」を上回ると予想された場合、「出」を早めたり「入り」を遅らせることにより「入り」を「出」より上回らせることもできる。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 41] 資金繰りを考えるうえで考慮される現金増減の法則に関する次の記述について、現金の増加として捉えるものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 商品が増加した。
- b. 元入金が増加した。
- c. 負債が増加した。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

[問 42] 個人事業主の貸借対照表に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 個人事業主の貸借対照表の「負債・資本の部」においては、「資本」ではなく「元入金」と表示されている。
- (2) 事業主以外の第三者から調達したお金は、貸借対照表の負債に該当する。
- (3) 買掛金、借入金、未収金は、いずれも負債の部に表示される。

[問 43] 個人事業主の貸借対照表に関する次の計算式について、A～Cに入る語句の正しい組合せを1つ選びなさい。

$$\text{翌年の元入金} = \text{前年の元入金} + \boxed{A} - \boxed{B} + \boxed{C}$$

- (1) A 前年の所得金額 B 前年の事業主借 C 前年の事業主貸
- (2) A 前年の事業主貸 B 前年の事業主借 C 前年の負債総額
- (3) A 前年の所得金額 B 前年の事業主貸 C 前年の事業主借

[問 44] 資金貸借対照表において、流動資金の調達に該当する勘定科目はいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 元入金
 - b. 長期借入金
 - c. 短期借入金
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 45] 固定資金、流動資金の運用と調達について、資金繰りの観点で望ましくないと考えられる関係を(1)～(3)の中から1つ選びなさい。なお、不等号(「<」「>」)は、貸借対照表の残高の多寡を表している。

- (1) 固定資金の運用 < 固定資金の調達
(2) 流動資金の運用 > 流動資金の調達
(3) 固定資金の運用 > 固定資金の調達

[問 46] 設備資金の調達と計画に関する次の記述について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 借入金の返済原資となる内部留保した利益(処分後利益)とは、個人事業主の場合には税引前利益から所得税などの税金を支払った残りの利益をいう。
 - b. 個人事業主の場合において、年の途中における「元入金」の増加はできず、あくまで「事業主貸」として処理する。
 - c. 設備資金を長期借入金により調達する場合には、その返済原資は毎年の処分後利益と減価償却費との合計額の範囲内に収まるようにすべきである。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 47] 運転資金に関する次の記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 営業運転資金の不足資金を調達する場合、調達方法を考える前に、資金不足の原因を追究することが重要である。
- (2) 運転資金は「流動資産－流動負債」で表されるが、売掛金は流動負債に該当する。
- (3) 営業運転資金とは、そのビジネスの営業に直接関係のある資金の運用金額が、その調達金額よりも大きくなっている場合の、その不足資金をいう。

[問 48] 営業運転資金に関する下記の図の説明について、正しいものはいくつあるか、(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

売掛金 1,350,000 円	買掛金 600,000 円
	棚卸資産 350,000 円

- a. 売掛金 1,350,000 円のうち、1,150,000 円分を現金販売できていれば、営業運転資金が不足することはなかった。
 - b. 売掛金 1,350,000 円のうち、1,000,000 円分が手形で回収されても、営業運転資金は何らの変化もない。
 - c. 売掛金・棚卸資産の合計と、買掛金との差額は営業運転資金の不足分であるから、何らかの方法で調達しなければならない。
- (1) 1つ
(2) 2つ
(3) 3つ

[問 49] 流動資金の運用と調達に関する次の記述について、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 金利 2% で 500 万円の借入れをした場合の 1 年間の支払利息は、粗利益率 30% のビジネスの場合では売上高 50 万円分の利益に相当する。
- (2) 当座貸越は一度契約をしていれば、限度額までは自由に借りられるうえに、金融機関の審査が他の調達方法に比べて緩やかであるというメリットがある。
- (3) 当座貸越は、資金が不足になりがちな月末の数日間だけ利用するというのが有効な手段である。

〔問 50〕 売上債権管理，在庫管理に関する次の記述について，誤っているものはいくつあるか，(1)～(3)の中から1つ選びなさい。

- a. 財務指標の活用とは一定の目標基準を設け，金利意識を持つことと言えるが，「売掛金の回収率は月間 50%以上とする」という目標はここでいう「目標基準」に当たる。
- b. 売上債権管理の前提として，締め日，期日，支払方法，手形のサイトなど得意先との取引条件を明確にしておくことが必要である。
- c. 常時必要な農薬や肥料を豊富に手元に置いておくことは，資金繰りの観点からも好ましい。

- (1) 1つ
- (2) 2つ
- (3) 3つ

答案作成上のご注意

① 所持品

受験票・鉛筆(HB)・消しゴム・電卓1台(ただし、金融計算・関数・メモ機能付を除く)

② 解答用紙の記入方法

- (1) 受験票の受験番号・氏名が解答用紙の受験番号・氏名と一致していることを確認のうえ、解答用紙の氏名欄にカタカナ名を記入してください。
- (2) コンピューターの印字がない白地の解答用紙を使用する場合は、受験票記載の受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入してください。
- (3) 解答用紙を折りまげたり、破ったりしないでください。また、解答用紙が著しくよごれたときは、監督者に申し出て新しい(白地の)解答用紙と取りかえてください。その際は、受験番号・金融機関コード・漢字名・カタカナ名を記入のうえ、受験番号も忘れずにマークしてください。

③ マークの記入方法

この試験は、マーク・シート方式です。

- (1) 正しいマーク例 ● はみださないよう鉛筆で塗りつぶしてください。
- (2) 誤ったマーク例 ① ② ⊗ ⊙ 0
- (3) 訂正方法
消しゴムで跡が残らないようきれいに消してください。
消し方が不完全な場合には二重解答となり採点されません。

④ 本試験の正解は2023年10月12日(木)を目途に次のインターネットサイトに掲示いたします。 <https://www.nc-academy-answer.net/>

アクセスする際は、上記URLを直接入力するか、右記二次元バーコードを読み取りして、ダイレクトにアクセスしてください。



(株)農林中金アカデミーのトップページからアクセスすると、アクセス集中によって長時間待たされる、あるいは操作が停止することになりますので控えてください。



株式会社 農林中金アカデミー

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-11 アグリスクエア新宿9階
TEL 03-6457-8806 (代表)